

自主防災組織と災害時要配慮者への対応

この冊子の記事情報は、2024年8月現在のものを使用し作成しております。最新の情報は由布市のホームページよりご確認ください。

自主防災組織で地域を守る

自主防災組織とは、地域の皆さんが災害に対して協力し合う組織です。自主防災組織を結成し、地域防災活動を行うことで災害に強いまちづくりを目指しましょう。

平常時の活動

- **作ろう、参加しよう、育てよう!** 日頃の付き合いがある隣組や自治会などで、互いに助け合い、協力し合える体制づくりをしましょう。
- **みんなで学ぼう!** 防災に関心を持ち、防災に関する知識を身につけましょう。
- **地域を点検しよう!** 地域の皆さんで事前に避難所や避難経路を確認、点検しましょう。
- **訓練をしよう!** いざというときに正しい行動が取れるように、災害の発生を具体的に想定した防災訓練を定期的 to開催しましょう。



災害時の活動

- **初期消火活動** 火が天井にまわるまでには消火器などを用いた初期消火が可能。
- **避難誘導** 高齢者や障がいがある方々などへの避難支援。
- **救出・救助** 被災者の救出。救護所への搬送。
- **情報の収集・伝達** 災害に関する正しい情報の収集とその伝達。
- **避難所の管理・運営** 水や食料などの配給、炊き出しなどの給食・給水活動。



自主防災組織の活動支援

市では地域防災力の強化を推進するため、自主防災組織の活動を支援しています。

- **自主防災組織 資機材等整備事業** (事業概要) 防災資機材を整備するための経費に対し補助金を交付します。
(対象経費) ヘルメット、発電機、防災倉庫など自主防災組織に必要な資機材
(補助金額) 補助率4/5 (上限30万円)
- **自主防災組織 活動交付金事業** (事業概要) 訓練や避難誘導などの活動実績に応じて交付金を交付します。
(対象経費) ①防災研修・訓練 ②防災計画やタイムライン作成・見直し ③災害時の支援活動
(交付金額) 世帯割と事業割の合計額



詳しくはこちらから



詳しくはこちらから

自主防災組織の有無にかかわらず、防災研修や防災訓練の支援も行っていますので、お気軽にご相談ください!

災害時要配慮者への支援

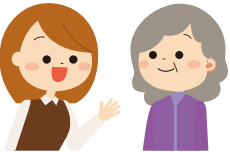
高齢者や病気などの方

お年寄りや病気の方、子どもなどは、早めの避難が必要です。みなさんで協力して避難しましょう。



耳の不自由な方

話す時はまっすぐ顔を向け、口を大きくはっきり動かしましょう。手話、筆談、身ぶりなどの方法で正確に情報を伝えましょう。



目の不自由な方

はっきり、ゆっくり大きな声で話しかけましょう。誘導する場合は、ひじの辺りを軽く持ってもらい、ゆっくりした速度で半歩前を歩きましょう。



体の不自由な方

車いすの方の場合、階段では必ず3人以上で!昇る時は、前向きに、降りる時は後ろ向きにします。



日本語の不自由な外国人の方

日本語での情報が十分理解できない場合があるため、平易なわかりやすい表現で危険を伝え、避難誘導しましょう。



妊婦や乳幼児がいる家庭

出産に向けた心身の健康状態を良好に保つため、生活環境などに配慮しましょう。乳幼児は感染予防や体温保持などに配慮しましょう。

